

授業科目名	医療知識Ⅵ		科目コード	202017	
開講クラス	医療事務科	コース	総合コース	学 年	2年
担当教員	西岡 明子		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)		
	実務経験内容 病院に6年間勤務し、主に看護業務に従事 実務経験を活かし、解剖学・生理学など医学の基礎知識を理解させる授業を行う				
開講時期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	30時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必修		単 位 数	1単位	
使 用 テキスト 1	書 名	カラーで学べる病理学			
	著 者	渡辺 照男			
	出版社	ヌーヴェルヒロカワ			
使 用 テキスト 2	書 名	ぜんぶわかる 人体解剖図			
	著 者	坂井 建雄・橋本 尚詞			
	出版社	成美堂出版			
参考図書	公費負担医療の実際				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習				
<授業の目的・目標> ・医療事務者として一定の医学的専門知識と、その知識を活かした保険請求能力を身に付けることを目的とする。 ・医療秘書検定試験準1級、医師事務作業補助能力認定試験合格を目標とする。					
<授業の概要・授業方針> ・医療事務者として保険請求の際にカルテを読み解き、内容を理解することは重要であるため、医療現場での話など身近な話題、経験談も導入し授業を行う。 ・人体の器官、臓器及び組織等、解剖・生理について深い知識を得る。医学用語・医学英語、使用頻度の高い医薬品についての知識を得る。診療録、看護録のサマリー情報を概略的に理解できるようになる。					
<成績基準・評価基準> ・成績基準 優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：59点以下 ・評価基準 ①小テスト、授業態度、提出物：20% ②期末試験：80%					
<使用問題集・注意事項> ・医療秘書検定試験準1級 過去問題集					
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> ・関連科目 「医療事務」、「医師事務作業補助」					

授業科目名		医療知識Ⅵ	
回	授業内容		備考
1	医療秘書検定試験準1級 出題内容 確認		
2	医療秘書検定試験 過去問際① 解答・解説		
3	神経系疾患		
4	医療秘書検定試験 過去問際② 解答・解説		
5	神経系に作用する薬物		
6	医療秘書検定試験 過去問際③ 解答・解説		
7	循環器疾患		
8	医療秘書検定試験 過去問際④ 解答・解説		
9	循環器系に作用する薬物		
10	医療秘書検定試験 過去問際⑤ 解答・解説		
11	呼吸器系疾患		
12	医療秘書検定試験 過去問際⑥ 解答・解説		
13	呼吸器系に作用する薬物		
14	医療秘書検定試験 過去問際⑦ 解答・解説		
15	消化器系疾患		
16	医療秘書検定試験 過去問際⑧ 解答・解説		
17	消化器系に作用する薬物		
18	医療秘書検定試験 過去問際⑨ 解答・解説		
19	血液系疾患		
20	医療秘書検定試験 過去問際⑩ 解答・解説		
21	血液系に作用する薬物		
22	医療秘書検定試験 過去問際⑪ 解答・解説		
23	内分泌系に作用する薬物		
24	医療秘書検定試験 過去問際⑫ 解答・解説		
25	抗アレルギー薬		
26	医療秘書検定試験 過去問際⑬ 解答・解説		
27	皮膚および眼に作用する薬物		
28	その他の主な薬物①		
29	②		
30	まとめ		